

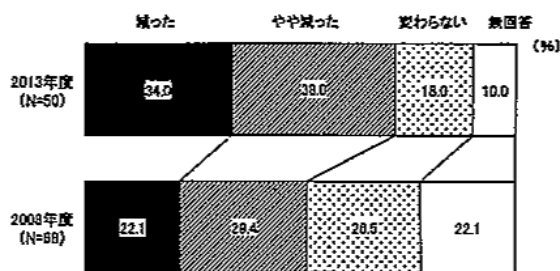
EASでロス率改善7割

「万引防止機器ロス対策報告書」発行

日本万引防止システム協会

日本万引防止システム協会(東京都新宿区、TEL 03・3355・2322、以下J EAS)は、EAS機器のユーザー企業へのアンケート結果を纏めた「2013年度万引防止機器ロス対策報告書」を発行。EAS機器の導入でロス率が改善した企業が7割を超えた。

EAS導入前と導入後のロス率の変化



「仕様・運用のしやすさ」で選択肢に加えた「警備員」が52.1%だった。今回の調査では、商品の製造/包装段階でタグを装着するソースタキングに関する設問も追加。店頭でのタグ付け作業への負担感については、「非常に負担」28.0%、「負担」48.0%で、負担を感じるユーザーが7割に及ぶ。だが、国内商品にソースタキングを要望するかどうかの問いには、「大いに要望する」38.0%、「要望する」22.0%で、要するユーザーも6割に達しており、小売業者以外のタグ装着によるソースタキングには期待を寄せているようだ。

「仕様・運用のしやすさ」46.0%の順。導入効果については、「万引きの減少」90.0%(同67.6%)、「ロス率の減少」62.0%(同54.4%)、店員の防犯モラルの向上32.0%(同26.5%)と続くが、利益率の向上という回答が26.0%(同8.8%)と増えた。EAS機器以外で導入している防犯機器・システム等については、「ある」96.0%(同94.1%)で、「ある」と回答した企業では「防犯カメラ」97.9%(同92.2%)、「防犯ミラー」58.3%(同67.2%)が多く、今回の調査で選択肢に加えた「警備員」が52.1%だった。今回の調査では、商品の製造/包装段階でタグを装着するソースタキングに関する設問も追加。店頭でのタグ付け作業への負担感については、「非常に負担」28.0%、「負担」48.0%で、負担を感じるユーザーが7割に及ぶ。だが、国内商品にソースタキングを要望するかどうかの問いには、「大いに要望する」38.0%、「要望する」22.0%で、要するユーザーも6割に達しており、小売業者以外のタグ装着によるソースタキングには期待を寄せているようだ。

「減った」34.0%、「やや減った」33.0%、「変わらない」15.0%、「無回答」10.0%。2008年度は「減った」22.1%、「やや減った」29.4%、「変わらない」20.5%、「無回答」22.1%。今回の調査は2008年に行つて以来のもので、小売業界のEASユーザー企業231社を対象にアンケート調査を実施。50社から回答を得た。

EAS機器の導入前後でのロス率の変化については、「減った」34.0%(前回調査22.1%)、「やや減った」33.0%(前回調査29.4%)、「変わらない」15.0%(前回調査20.5%)、「無回答」10.0%(前回調査22.1%)。今回の調査は2008年に行つて以来のもので、小売業界のEASユーザー企業231社を対象にアンケート調査を実施。50社から回答を得た。

EAS機器の導入前後でのロス率の変化については、「減った」34.0%(前回調査22.1%)、「やや減った」33.0%(前回調査29.4%)、「変わらない」15.0%(前回調査20.5%)、「無回答」10.0%(前回調査22.1%)。今回の調査は2008年に行つて以来のもので、小売業界のEASユーザー企業231社を対象にアンケート調査を実施。50社から回答を得た。